



文化学園長野中・高が加盟する「ユネスコスクール」の ユネスコってなんでしょう？

そこが
知りたい！

ユネスコは正式名称を「United Nations Education, Science and Culture Organization (UNESCO)」といい、日本語では「国際連合教育科学文化機関（こくさいれんごう きょういっかがくぶんかきかん）」と訳されます。世界193の国が加盟する国連の中の一つの専門機関です。2017年4月、文化学園長野中・高が「ユネスコスクール」の指定を受けてから、3年が過ぎました。節目の春を迎え、2020年度新入生のみなさんとともに、もう一度ユネスコについて学びなおしてみましょう。

ユネスコのはじまり

世界屈指の研究機関を目指して…

ユネスコの前身は1922年に国際連盟の下に設立された国際知的協力委員会とされており、ドイツの物理学者**アインシュタイン**やフランスの物理学者**キュリー夫人**など、著名な有識者12人が出席しました。その当時国際連盟の事務局次長を務めていたのが、「武士道」などの著書でも有名な日本人の**新渡戸稲造**でした。国際知的協力機関は、世界屈指の研究機関としてパリで研究所を開設し、戦争の心理的原因の研究、文化財の保護などを手がけていました。しかし、第二次世界大戦の開戦により、その活動は中断されます。

研究を、世界平和に生かす

戦時中の1942年、ヨーロッパ各国の文部大臣はイギリス外務省の呼びかけで、連合国教育大臣会議を開き、ヨーロッパの教育復興を目指します。やがて、**教育、文化の国際協力で世界平和を築こう**という方向に進んでいきました。第2次世界大戦終結後の1945年11月1日、イギリスとフランスの政府は、ユネスコ設立のための会議を再びロンドンに招集しました。各国代表はこの年の8月に**広島・長崎に核兵器が使われた悲劇を想起し、科学が平和のために生かされなければならないことを決意し**、新しく生まれようとしている機関で、教育と文化に加えて科学も扱うことを決めました。こうして同年11月16日、「悲惨な戦争を2度と起こしてはならない」という理念のもと、**ユネスコ憲章**が採択されました。

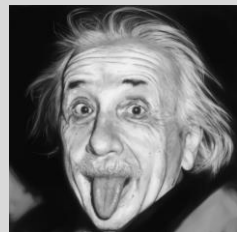
翌1946年11月4日、20カ国がユネスコ憲章を批准した時点で憲章は効力を発し、ユネスコが誕生しました。

(参考：公財 ユネスコ協会連盟web, <https://www.unesco.or.jp/>)



インターネットで調べてみよう！

何をした人だろう？



アインシュタイン



キュリー夫人



新渡戸稲造

「ユネスコ憲章」とユネスコの使命

ユネスコの目指すところを示した「ユネスコ憲章」。一番最初の「前文」の部分にまず、「世界の平和」を唱えています。**あらゆる文化を尊重しながら、教育や科学を通じて人々を「平和を追求する人」に育てようとするのが、ユネスコの使命です。**以下に前文を全て掲載するので、ぜひ一度は読んでみましょう！

この憲章の当事国政府は、この国民に代わって次のとおり宣言する。
戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。
相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信を起こした共通の原因であり、この疑惑と不信の為に、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。
ここに終わりを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代りに、無知と偏見を通じて人種の不平等という教養を広めることによって可能にされた戦争であった。
文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、かつ、すべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神を持って、果たさなければならない神聖な義務である。
政府の政治的及び経済的取り決めのみに基づく平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって、平和が失われないためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。
これらの理由によって、この憲章の当事国は、すべての人に教育の十分で平和な機会が与えられ、客観的真理が拘束を受けずに研究され、かつ、思想と知識が自由に交換されるべきことを信じて、その国民の間における伝達の方法を用いることに一致し及び決意している。
その結果、当事国は、世界の諸人民の教育、科学及び文化上の関係を通じて、国際連合の設立の目的であり、かつ、その憲章が宣言している国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するために、ここに国際連合教育科学文化機関を創設する。

(引用：三田ユネスコ協会web, <https://www.unesco.or.jp/sanda/kensho/>)

ユネスコスクールとは…

ユネスコの理想を実現するための学校です

ユネスコスクールは、1953年、ASPnet(Associated Schools Project Network)として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、**国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体**として発足しました。世界182か国で11,500校以上がASPnetに加盟して活動しています。日本国内では、2019年11月現在、1,120校の幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学がこのネットワークに参加しています。日本では、ASPnetへの加盟が承認された学校を、ユネスコスクールと呼んでいます。

また、ユネスコスクールはその活動の質を担保するため「ユネスコスクールガイドライン」を策定しています。そこには、国内外のユネスコスクールの交流を盛んにし、**相手の良さを認め合い、学び合うことや、学校全体で組織的・継続的に活動すること、地域との連携（つながり）など開かれたネットワークを築くこと**などが明示されています。

ユネスコスクールに加盟すると…

【その1】世界的な学校間ネットワークの一員となります！

ユネスコスクール間の交流のほか、学生や教員を対象とした国際会議や共同プロジェクトに参加することができます。こうしたネットワークを活用した活動は、グローバル人材の育成に繋がります。

【その2】地球規模の諸問題について思考する「持続可能な開発のための教育（ESD, 右図）」推進拠点として、人・モノ・情報が得られ、教育手法の変革と児童生徒の変容に繋がります！

ユネスコスクール事務局やユネスコスクール支援大学間ネットワークから、情報・指導助言、教材などが得られます。学習方法や学習スタイルなど、先生方の教育手法獲得や生徒の変容にもつながることが期待されます。

ユネスコスクールでの学び

2020年から、新しい学習指導要領が段階的に導入されます。ここには、持続可能な社会の構築の観点が入り込まれ、教育基本法とこの新しい学習指導要領に基づいた教育を実施する一つの手段に「持続可能な開発のための教育（ESD）」が大切だと考えられています。

ESDは「Education for Sustainable Development」の頭文字で、ユネスコの目指す教育の在り方を指しています。下の図に、ESDの目標、何を学ぶか、どのように学ぶかを整理しました。ユネスコスクールでは、ESDの実践校として、様々な学び方で力をつけていきます。



図：ユネスコスクールの学び方「ESD」
出典：文部科学省（2018）をもとに筆者作成

<参考・引用> 文部科学省 ユネスコスクール公式ウェブサイト, (<http://www.unesco-school.mext.go.jp/>)
文部科学省（2018）『ユネスコスクールで目指す持続可能な開発のための教育』, 日本ユネスコ国内委員会

グローバル化の光と影 世界的パンデミックから 私たちは何を学ぶのか？

4月9日 未来大人会議のメンバーは、何をして、何を考えた？

受験生なので勉強に費やした。家事も毎日、とても新鮮だった。そして何より母と将来に関わる話ができ、考えが深まったこと、休校のおかげだと思う。何もできないからこそ、何かしようと考えて生活した。(高3-3F)

Youthreachに参加。長野の高校生・大学生で学校の枠を超えてSDGs実現に向けたアクションプランを検討した。自粛・要請・不要不急の定義を再考した。改めて「言葉」と「行動」の繋がりを考えた。(高3-6M)

感染拡大で世界中の人々の自由が奪われている。全てをウイルスのせいにしていいのか。行動や振る舞いを皆で考え行動していきたいと強く思う。(高3-4F)

Web会議Zoomを2回行った。「世界の課題と身近な課題、その解決策について」文化学園執行部有志と信大教育学部の学生中心に行われた。未来大人会議。「できない」と決めれば何もできない。「何かできる」という視点で仲間とともに考えていきたいと思う。(高3-7F)

大した事はしていないが、コロナについて、政府の対応、世界の動向など情報収集をした。まず正しく知る！(高3-6M)

まず家族と一緒に食卓を囲むことが増えた。お互いのことをよく話した。絆の深まり。また、志望校が一緒の友と目標を立てて励まし合いながら、学習に取り組めた。一人の戦いではない、絆、繋がりを再認識。(高3-4F)

まず家族と一緒に食卓を囲むことが増えた。お互いのことをよく話した。絆の深まり。また、志望校が一緒の友と目標を立てて励まし合いながら、学習に取り組めた。一人の戦いではない、絆、繋がりを再認識。(高3-4F)

新型コロナウイルスとSDGsの関係を考えた—高校・Aさん



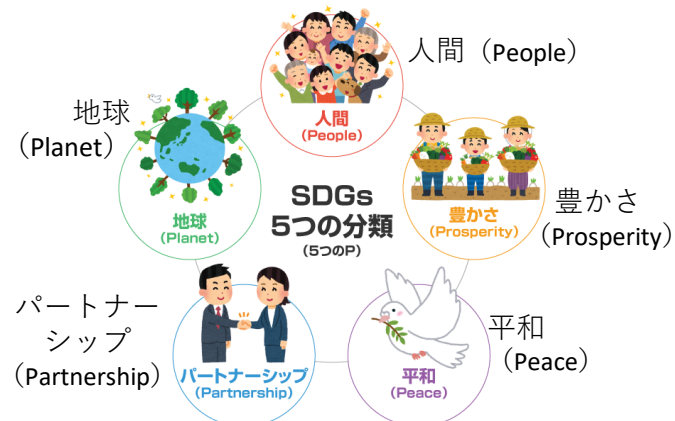
SDGs「行動の10年」に向け、社会がどう変わるのか？

Decade of Action from 2020

学校など日常の暮らしの利便性から自由を失った今、皆それぞれに本当の幸せや、時間の価値観について様々な考え方と気づきがあることと思う。

紛争や戦争とは別の意味で、真の平和を真剣に考える時間を与えられたようにも感じる。このpandemicが終息した後に、どんな社会を迎えたいか？経済的な予測は目にするが、「意識の変容」はまだ未知の世界であろう。世界中に非常事態宣言が発令された今、人類に与えられたこの時間をどう使うか。真の意味で開放された自由とは何か？平和な暮らしとは何か？

このタイミングだからこそ、「持続可能な社会の未来」を真剣に想像したい。



新型コロナウイルスによってどんな課題が発生するだろう？ SDGs推進の観点から、SDGs基本原則「5つのP」で考えてみよう。

一般社団法人長野県新聞販売従業員共済厚生会 「第9回 学生記者海外派遣」 今年度の派遣中止決定

「学生記者海外派遣」は、長野県内在住の中学生10人と高校生10人を中高生記者として米国に派遣する、新聞販売業の皆様のご支援による「グローバルな視野を持った若者の育成」の企画です。2020年夏、約1週間訪問地で取材活動を行い、帰国後に書く記事が信濃毎日新聞に掲載される予定でしたが、今年度はコロナウィルスの影響により、派遣が中止されました。本校からは7名が応募し、結果を待っていましたが、この連絡を受けて残念な思いをしています。その中から、今回は2名の応募エッセイを掲載します。テーマは「私と新聞」です。

「家族」

文化学園長野高校2年 飯島 早紀

今、日本では、子どもが巻き込まれる凶悪な事件や家族など身近な人による痛ましい虐待が数多く起こっています。ニュースや新聞で、何度も目にして、その度に心が痛みます。そこで私は、学校で行っているSDGsの探究学習で、ゴール16のターゲット2を選択し、「児童虐待」について調べました。実際に、児童相談所にも訪問させてもらいました。

そこでは、二人の児童福祉司の方に話を聞いたのですが、まず一番驚いたことは、児童福祉施設の収容人数に限界があるため、保護が必要であるにもかかわらず、そのほとんどが面接指導で終わってしまうということです。その後も、家庭への訪問などの見守りは続きますが、深く関わるには限界もあります。面接指導で家庭に戻しても大丈夫という確証が得られなくても、全ての子どもを保護するわけにはいかない行政の現状もあると知り、日本における虐待の諸課題が見えてきました。

米国の対応についても調べました。米国では、12歳以下の子どもの、一人留守番の禁止、外のトイレも、子ども一人では行かせないなど、日本より保護に力を入れていることが分かりました。

しかし、「児童虐待」を引き起こす場が「家庭」であること。「核家族化やステップファミリーの増加により「家族」の関係性が危うくなっているのではないか」、「子どもの心身の発育には、継続的で安定した親子関係が必要なのではないか」、「そもそも家族とは」、と思ったのです。

そこで私は、可能な範囲で家族形態とともに、「あなたにとって家族とは？」という質問をさせて頂き、日米のそれを比較して、改めて「児童虐待」の課題に向き合おうと思います。そして今年本校で発足した「未来大人会議」の議題に挙げ、仲間と共に話し合い、「自分たちができること」を探るつもりです。

「拓」

文化学園長野高校3年 小林 叶

私は、高校2年の秋に修学旅行でイギリスに行った。そこは、活気に溢れた国であると感じた。事前学習の中で私は、EU離脱に興味を持った。新聞の一面を飾ったEU離脱当日、日本時間で2月1日午前8時。私は新聞の大きな見出しに見入った。今後の日本や世界にどのような影響が出るのか、そしてイギリスにとってどんなメリット・デメリットがあるのか、そんなことに疑問を感じながら記事を探した。

記事を読み、私は問題が大きく2つあると考えた。まず一つ目は、イギリスは世界の上位に入るほど経済や商業が栄えている国である。そのイギリスが離脱をすれば、世界の経済に影響を及ぼすことは避けられない、ということ。そして二つ目は、移民問題である、ということ。イギリス国土は6人に1人が移民・難民であり、これはEUによるもので結果、治安や税金などの問題に、国民の不満が噴出した。記事には、「イギリスは外国との自由貿易協定に向けた交渉に入るが、難航すれば経済や人々の生活に混乱が生じる可能性がある。他にも、イギリスには多くの日系企業があり、その中の日産自動車やトヨタ自動車などがイギリス各地に工場を設置し、年間80万台の車を生産している。しかし、使用されている部品のほとんどをヨーロッパから調達しているため、EU離脱後は部品の調達がスムーズに行われなくなってしまう。」と書かれていた。

私がもう一つ疑問に感じたメリット・デメリットを述べたい。メリットには、EUのルールに従わなくて良いため、移民難民の受け入れなどを自国で判断ができる。反対にデメリットには、加盟していた今までは、EU内を自由に行き来できていたが、離脱後は外国と同様の扱いをされるため、出国や入国の手続きが必要になる。

今後どうなるのか誰にも予想がつかない。だからこそ、私は日本人の一人としてどうしたらいいのか考え、知恵をだし、未来を切り拓きたい。そのためにも、仲間と共に考え、実践できたらと思っている。